

牛乳パックの開き方と洗い方

- ① 各自が牛乳パックの上部を開きます。



- ② 残乳がある場合は専用のバケツに入れます。



• 残乳がない場合はバケツまで持って行く必要はありません。

- ③ 自席で牛乳パックを開きます。



• 牛乳パックは自分の食器の上で開けば机やその周りに残乳が飛び散りません。
• 飲む際に使用したストローを先に回収すれば、他人の唾液に触れる心配もありません。

- ④ 各自が水切りかごに入れます。



• 一人一人が順番に牛乳パックを並べます。

- ⑤ 牛乳当番が、流しで洗います。



- ⑥ かごの中に立てるようにして入れます。



• 密集や密着を避けるために、牛乳当番が手洗い場まで持っていく、まとめて洗浄してください。
• その際に、手洗い場付近の窓を開けるなどして換気しながら作業を行ってください。
• 水が飛び散らないよう蛇口から多量の水を出さないようにしてください。
• 牛乳当番は手袋をしてください。

- ⑦ 決められた場所に置いてかわかします。



• 児童生徒が、乾かしている牛乳パックに触れないよう周知してください。
• なるべく付近に物が無く、風遠しが良い場所で乾かせるよう工夫をお願いします。

- ⑧ 翌日、牛乳当番が牛乳缶に入れ、給食室に返します。



• 牛乳当番が水切りバットから牛乳缶に入れて、下膳の際に給食室へ戻します。
• 給食室内には戻さず、給食室前にビニール袋をまとめて置く等の方法も考えられます。